

2007 年 4 ~ 6 月号

(年 4 回発行)

プレス会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

- 第 3 1 回通常総会..... 2
- 平成 1 9 年度事業方針..... 4
- 平成 1 9 年度行事予定..... 6
- 平成 1 9 年度収支予算..... 7
- I S O 旬 報.....12
- 品質改善セミナーⅡのご案内.....16
- 地引き網体験ツアーのご案内.....18

社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

第31回 通常総会

本会の第31回通常総会が、去る5月18日（金）午後16時30分から、たかつガーデン2階「コスモス」の間において開催された。

中辻 康総務担当委員長より、総会の成立（正会員110名の内、委任を含め77名が出席）が報告された後、同氏の司会で進められた。

はじめに吉田会長から「本日は、第31回通常総会に多数のご参加を賜りまして厚くお礼申し上げます。

平素は工業会諸事業の推進にご理解ご協力を賜りこの

場を借りまして厚くお礼申し上げます。さて、私たち中小ものづくり業界にも昨年度から、経済産業省の手厚い施策いわゆる、サポーターイングインダストリー支援法（サポイン法）が施行され、また本年度は更にグレードアップしていただくなど、まさに私たちに追い風が吹いてまいりました。各企業におかれましては、是非ともこの施策を大いに活用され、それぞれのお会社の経営基盤の強化に役立てて頂きますよう、工業会としましても、4つの委員会をフルに機能させてまいる所存です。本日は、役員の改選並びに定款の変更等議案もございますが、活発なご審議のほどよろしくお願い致します。」と挨拶があった。

次いで、中辻委員長から出席者に対し、本総会の議長の選任について諮ったところ、吉田会長を満場一致で選任した。議長は、議事録署名人に藤田格平氏（藤田金属㈱）と西村哲也氏（㈱ニシムラ）の両名を指名し議事に入った。



【第1号議案】平成18年度事業報告及び収支決算について

議長は、池田事務局長をして平成18年度に当工業会が実施した事業内容及び会員の異動状況ならびに同年度における収支決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について、それぞれ配布した総会資料により報告させた。

次いで、板原 繁監事から前記の決算関係書類を監査したところ、いずれも正確且つ適正であることを確認した旨の監査報告がなされた。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

【第2号議案】平成19年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

議長は、池田事務局長をして平成19年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について、配布した総会資料に基づき説明させた。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

【第3号議案】定款の一部変更について

議長は、池田事務局長をして定款の変更（案）の主旨説明をさせた上、議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

変更概要はつぎのとおり。

(1) 変更条項 定款第1章・第2条（事務所の変更）

(2) 変更理由 老朽化（昭和48年入居）及び狭小化による。

【第4号議案】任期満了に伴う役員改選について

本総会の議事を円滑に進めるため、事務局があらかじめ準備した「平成19・20年度役員候補者名簿」に記載の下記の理事候補者25名（留任20名、新任5名）及び監事候補者2名（留任1名、新任1名）を選任することについて、議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認可決した。

理事（留任）	朝田 政男	東 潤一郎	飯田 勝	河合 寛人
	楠 幸雄	児玉 敏幸	小西 敏夫	島田 恒幸
	多田 修	津村 卓男	中谷 哲也	中辻 康
	夏山 享啓	新川弘一郎	西村 哲也	藤田 格平
	南 雅佐夫	宮永 憲一	山口登志夫	吉田多佳志
理事（新任）	植村 隆	佐藤 進	難波 勝利	森 譲
	横幕 武夫			
理事（退任）	植田 祐司	草野 松繁	橋本 達	光吉 庸郎
監事（留任）	濱田 恵		（新任）字良 浩	
監事（退任）	板原 繁			

また、選任された各理事及び監事の全員は、即日その就任を承諾。その後、定款第11条3項により、理事の互選をもって会長1名、副会長3名を選出した。

会 長 吉田多佳志（再任）

副会長 小西 敏夫 河合 寛人 宮永 憲一（いずれも再任）

以上をもって、第31回通常総会の全議案の審議を終了したので、吉田議長は審議協力への謝辞述べ降壇した。17時28分、中辻委員長は閉会を宣した。

■平成19年度事業計画（案）及び収支予算（案）別掲

その後、会場を8階「たかつ東中」の間に移し、会員56名・来賓14名の総勢70名による懇親会が開催された。

平成19年度 事業方針

平成19年度の事業計画策定にあたっては、国の重点施策で2年度目となる、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」(サポイン支援法)が更にグレードアップしたことを踏まえ、昨年、(社)日本金属プレス工業協会(晝田眞三会長)が策定した、「金属プレス産業ビジョン」にそった事業と連動させながら、計画申請から採択に至るまでの積極的な支援ならびに、大阪府の今年度から(3年間)の目玉である、全国初!の「ものづくり支援超優遇税制」(資本3,000万円以下の中小製造業の設備投資を支援)の活用促進との2本柱を念頭に置いた、各事業運営委員会活動を展開してまいります。

3年間取り組んでまいりました、「中小企業人材確保推進事業」も昨年度で終了し、新たな、補助金・助成金事業が待望されているところですが、業界団体向けの施策は皆無に近い非常に厳しい状況にあり、たちまち本会の財政基盤も脆弱化してきております。

そのような状況下ではありますが、4つの委員会が会員の皆さまの少しでもお役に立つような事業を推進してまいりますので、どうか会員の皆さまにおかれましては、所属の委員会(年2回開催)に積極的にご参加下さいますようお願い申し上げます。

1 総務委員会

1-1[総務関係]

- (1) 総会・理事会・委員長会を通じて、工業会の運営基盤の強化をはかる。
- (2) 任期満了に伴う役員改選を円滑に遂行する。
- (3) 青年部会の組織の拡大及び活性化等を支援する。

1-2[広報関係]

- (1) 機関誌「プレス会報」を年4回発刊し、誌面の充実をはかると共に会員企業間のPR及び誌上交流をはかる。
- (2) 「プレス短報」をタイムリーにFAXで会員に送達し、仕事依頼の紹介、業界関連情報や行政ニュース等を伝達する。(電子メールと併用) また、ホームページにも最新情報及び行事予定等を掲載する。(アクセス回数 10万回突破)
- (3) 「入会のしおり」及びホームページ等を駆使して、会員の増強をはかる。

1-3[交流関係]

- (1) 総会及び新年賀詞交歓会時に懇親会を開催し、会員相互の親睦・交流をはかる。
- (2) 経営者懇話会を開催し、経営上の諸問題について情報交換・相互援助の場を提供する。また、忘年会を開催して親交を深める。
- (3) 受注領域拡大に向けて研究会を立ち上げ、会員相互の経営資源(設備・コア技術)の有効な活用をはかる。

2 経営委員会

2-1[経営関係]

- (1) 総会及び新年賀詞交歓会時等にタイムリーなテーマの講演会を開催する。
- (2) 「金属プレス加工月報」の回答率を高め、経済産業行政施策の強化を訴える。
- (3) OMSA-HP のコンテンツの充実をはかり、会員のニーズに応える。

2-2[労務関係]

- (1) 昨年に引き続き、地引き網体験大会(7月)を開催し、会員相互の親睦・厚生活動に寄与する。
- (2) 労務研究会を開催し、会員企業の人材確保及び労務改善の一助とする。
- (3) 毎年好評の家族ハイキングを本年も実施する。

3 安全・技術委員会

3-1[安全関係]

- (1) 労働災害調査の回答率(前年度 49%)を高め、災害防止対策及び労災収支改善をはかり、更なる労働保険率の軽減をはかる。
- (2) 日金協が主催するプレス安全・環境大会(東京)に積極的に参加する。
- (3) 全国産業安全衛生大会(11月・神戸)への参加を支援する。
- (4) たんぽぽ計画(最終年度)を積極的に推進する。

3-2[技術関係]

- (1) 技能検定(プレス加工・金型製作)の実技試験を府より委嘱をうけて、公正且つ円滑に実施する。
- (2) 技能検定(学科・実技)の準備講習会を開催し、同検定受検者の合格率向上をはかる。
- (3) 日金協主催のプレス加工技術研究会(大阪会場)に協賛参画し、最新技術の習得を助成する。
- (4) 先端企業ならびにプレス機械メーカー・周辺機器メーカー等を見学し、自社の生産性の向上や工程改善に役立てる。

4 ISO 推進委員会

- (1) 「ISO 旬報」を発刊し、ISO9001のグループ QMS、ISO14001 のネット EMS を詳しく解説し導入を勧奨する。
- (2) 専門家を招請して、「ISO14001 内部監査員養成セミナー」を格安で開催・提供する。
- (3) 昨年に引き続き、品質セミナー((財)中部産業連盟)を開催する。
- (4) 委員を研修会に派遣して、ISO 旬報等を通じて会員の皆さまに伝承する。
- (5) 委員相互の工場見学会を実施して、問題点及び課題等を共有し改善を図る。

5 青年部会

- (1) 組織の拡大及び活性化のため、会員の増強をはかる。
- (2) 新会長のもと、活発な事業展開をはかり、次代を担う後継者の育成に努める。

6 年間行事予定表

平成19年度行事予定表

総務委員会			経営委員会		安全・技術委員会		ISO推進委員会	青年部会	日本金属プレス工業協会
総務関係	広報関係	交流関係	経営関係	労務関係	安全関係	技術関係			
4月 11日 第1回正副委員長会議 18日 第1回正副会長会議 18日 第97回理事会					平成18年度労働災害調査		19日 年度計画最終案決定	18日 総会	25～28日 金属プレス加工技術展2007 27日 同上 特別講演会 " 第1回理事会(書面表決)
5月 18日 第31回通常総会	下旬 プレス会報4～6月号	18日 総会後懇親会					18日 第1回委員会	18日 親会総会	15日 第2回理事会 第34回通常総会 29日 第1回安全・環境委員会
6月	20日 第1回総務委員		26日 第1回経営委員会		25日 第1回安全・技術委員会		上旬 ISO旬報発行	中旬 例会	27日 全国事務局連絡会議 28日 第1回交流委員会
7月			8日 第3回地引き綱体験 (泉南市・岡田浦漁港)			【前期技能検定:プレス加工】 14・15日 学科講習会 21～24日 実技講習会 25～28日 実技試験	3日 品質改善セミナー 3日 第2回委員会	上旬 親睦旅行 下旬 OB合同懇親会	
8月		下旬 経営者懇話会				8/上旬 学科試験		下旬 家族例会	
9月		下旬 プレス会報7～9月号	中旬 人材確保促進セミナー		中旬 安全優良事業所見学会		6～8日 第3回委員会 富士・細子・雲州工場 下旬 ISO旬報発行	中旬 例会	中旬 第2回安全・環境委員会 下旬 技術研究会
10月	上旬 第2回正副委員長会議 中旬 第98回理事会			下旬 第9回健康ハイキング				中旬 3地区合同交流会 (大阪主催)	中旬 第2回交部委員会 下旬 全国事務局連絡会議
11月		上旬 プレス会報10～12月号			7～9日 全国産業安全衛生大会(神戸) 中旬 第25回 プレス安全・環境大会		9日 中産連セミナー 委員派遣 「ISO有効性評価プログラム」 上旬 ISO14001内部監査員養成セミナー	中旬 例会	上旬 第3回理事会 中旬 第3回安全・環境委員会 下旬 技術研究会
12月	中旬 第2回正副会長会議 中旬 第99回理事会	中旬 忘年会				【後期技能検定:金型製作】 下旬 学科準備講習会	11/上 第4回委員会 中旬 ISO旬報発行	上旬 忘年会	
1月		下旬 新年賀詞交歓会	下旬 新春記念講演会			下旬 実技準備講習 下旬 実技試験	下旬 第5回委員会	下旬 親会新年賀詞交歓会	16日 新年賀詞交歓会 下旬 技術研究会
2月	中旬 第2回総務委員会		下旬 第2回経営委員会		下旬 第2回安全・技術委員会	上旬 学科試験		中旬 工場見学会	
3月					上旬 プレス安全教育		中旬 第6回委員会 下旬 ISO旬報発行	中旬 例会	中旬 第4回理事会
備考					11/1～7 プレス安全勉強期間 「たんぼぼ計画」最終年度		(通年事業) 未取得企業への挑戦助奨 3月アンケート調査結果 ISO9001 取得率:46.8% ISO14001 取得率:40.5%	会長 萩原圭介 副会長 佐藤大記 総務幹事 津田達哉	

平成19年度 収 支 予 算

1 収支予算総括表（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 収 入 の 部

(単位：円)

科 目	平成 18 年度予算額	平成 18 年度決算額	平成 19 年度予算額
入 会 金 収 入	20,000	5,000	20,000
会 費 収 入	13,938,000	13,940,450	13,824,000
事 業 収 入	3,198,000	3,579,550	4,071,000
補 助 金 収 入	8,000,000	7,379,402	1,000,000
繰 入 金 収 入	3,000,000	3,000,000	1,000,000
雑 収 入	200,000	738,229	400,000
当 期 収 入 合 計(A)	28,356,000	28,642,631	20,315,000
前期繰越収支差額	17,760,687	17,760,687	17,796,913
収 入 合 計(B)	46,116,687	46,403,318	38,111,913

(2) 支 出 の 部

(単位：円)

科 目	平成 18 年度予算額	平成 18 年度決算額	平成 19 年度予算額
事 業 費	17,166,000	16,216,639	8,808,000
管 理 費	10,458,000	11,371,766	11,227,000
積 立 金 支 出	200,000	200,000	200,000
予 備 費	532,000	518,000	80,000
雑 損 失	0	300,000	0
当 期 支 出 合 計(C)	28,356,000	28,606,405	20,315,000
当 期 収 支 差 額(A-C)	0	36,226	0
次期繰越収支差額(B-C)	17,760,687	17,796,913	17,796,913

2 平成19年度一般会計収支予算（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（1）収入の部

（単位：円）

科 目		平成18年度	平成18年度	平成19年度	備 考
大	中 小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
	入 会 金 収 入	20,000	5,000	20,000	
	入 会 金	20,000	5,000	20,000	見込み4社
	会 費 収 入	13,938,000	13,940,450	13,824,000	134社（H19.4.1現在）
	正 会 員	11,226,000	11,285,560	11,208,000	110社
	特 別 会 員	156,000	155,700	156,000	1社
	賛 助 会 員	2,556,000	2,499,190	2,460,000	23社
	事 業 収 入	3,198,000	3,579,550	4,071,000	
	競 技 会 会 費	180,000	243,000	180,000	地引き綱大会、家族ハイキング
	研 修 会 費	0	0	695,000	
	講 習 教 材 費	800,000	1,000,810	862,000	技能検定準備講習会
	検 定 協 力 費	1,198,000	1,302,400	1,274,000	プレス加工75名、金型製作14名
	見 学 会 費	0	0	60,000	
	懇 親 会 費	720,000	713,000	1,000,000	総会、忘年会、賀詞交歓会、理事会
	機 関 誌 掲 載 費	300,000	320,340	0	
	補 助 金 収 入	8,000,000	7,379,402	1,000,000	
	人材確保推進事業	8,000,000	6,758,100	0	
	たんぽぽ計画	0	621,302	1,000,000	
	繰 入 金 収 入	3,000,000	3,000,000	1,000,000	
	周年事業積立金取崩	3,000,000	3,000,000	0	
	運営強化資金積立金取崩	0	0	1,000,000	
	雑 収 入	200,000	738,229	400,000	
	雑 収 入	200,000	738,229	400,000	日金協賛金、保険手数料他
	当 期 収 入 合 計 (A)	28,356,000	28,642,631	20,315,000	
	前 期 繰 越 収 支 差 額	17,760,687	17,760,687	17,796,913	
	収 入 合 計 (B)	46,116,687	46,403,318	38,111,913	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目			平成18年度	平成18年度	平成19年度	備 考
大	中	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
		事 業 費	17,166,000	16,216,639	8,808,000	
		総 務 関 係 費	3,810,000	3,821,227	700,000	
		会 議 費	410,000	339,196	300,000	総会、理事会、委員会（総務・広報・交流）
		資 料 作 成 費	120,000	118,000	120,000	総会資料
		報 奨 費	60,000	35,360	60,000	新入会員紹介、加工月報協力
		青 年 部 育 成 金	120,000	120,000	120,000	
		顧 問 料	100,000	100,000	100,000	財務顧問料
		40周年記念事業費	3,000,000	3,108,671	0	
		広 報 関 係 費	164,000	110,083	209,000	
		制 作 費	20,000	0	100,000	プレス会報
		刊 行 物 購 入 費	60,000	27,620	37,000	新聞、専門誌、機関誌
		刊 行 費	84,000	82,463	72,000	プレス会報送料他
		交 流 関 係 費	3,752,000	3,768,395	3,749,000	
		懇 親 会 経 費	900,000	913,475	1,160,000	総会、忘年会、賀詞交歓会、理事会
		交 流 懇 話 会 経 費	30,000	16,320	20,000	経営者懇話会
		団 体 加 入 費	2,822,000	2,838,600	2,569,000	日金協、ものづくり振興協会等
		経 営 関 係 費	1,040,000	681,800	390,000	
		会 議 費	80,000	37,530	40,000	委員会（経営・労務）
		講 演 会 経 費	200,000	0	130,000	講師謝金、会場費
		研 修 会 経 費	0	0	0	
		H P 維持管理費	160,000	159,080	220,000	接続料、HP 更新料他
		I T 研 修 会 費	600,000	485,190	0	

(単位：円)

科 目			平成18年度	平成18年度	平成19年度	備 考
大	中	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
		労 務 関 係 費	500,000	609,334	480,000	
		労 務 改 善 費	100,000	68,435	80,000	雇用管理研究会
		競 技 会 経 費	400,000	540,899	400,000	地引き網、家族ハイキング
		安 全 関 係 費	400,000	678,662	640,000	
		会 議 費	60,000	25,400	40,000	委員会（安全・技術）
		安全研修経費	300,000	257,990	100,000	プレス安全・環境大会
		安全意識高揚経費	40,000	395,272	500,000	たんぼぼ計画
		技 術 関 係 費	1,700,000	1,550,563	1,710,000	
		見 学 会 経 費	0	0	10,000	
		学 習 援 助 費	600,000	453,779	600,000	技能検定準備講習会
		検 定 経 費	1,000,000	996,784	1,000,000	技能検定経費、設備使用料
		顧 問 料	100,000	100,000	100,000	技術顧問料
		I S O 推 進 委 員 会	400,000	278,020	930,000	
		会 議 費	80,000	102,564	90,000	委員会
		調査研究・資料作成費	120,000	175,456	120,000	ISO 旬報、セミナー派遣
		見学・研修会経費	200,000	0	720,000	内部監査員養成及び品質改善セミナー
		人 材 確 保 推 進 事 業	5,400,000	4,718,555	0	
		人材確保検討委員会	500,000	325,245	0	
		調 査 事 業 費	700,000	727,900	0	
		事業成果分析事業	300,000	299,400	0	
		団体広報誌の作成	1,500,000	1,371,080	0	
		マニュアルの作成	300,000	277,900	0	
		採用活動改善事業	1,500,000	1,017,540	0	
		退職金制度整備事業	500,000	491,820	0	
		職 場 定 着 事 業	100,000	207,670	0	

(単位：円)

科 目		平成18年度	平成18年度	平成19年度	備 考
大	中 小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
	管 理 費	10,458,000	11,371,766	11,227,000	
	職 員 給 料	2,440,000	2,589,450	2,460,000	1 名
	顧 問 料	3,960,000	3,960,000	3,960,000	1 名
	福 利 厚 生 費	500,000	465,448	420,000	社会保険料、労災保険料、健康診断
	旅 費 交 通 費	642,000	638,830	635,000	通勤費、出張旅費、連絡交通費
	通 信 費	660,000	655,604	660,000	電話料、郵便料、運送料
	消 耗 品 費	770,000	910,613	1,010,000	OAリース料、事務消耗品
	印 刷 費	30,000	43,975	30,000	コピー紙、封筒、名刺等
	図 書 費	30,000	6,975	30,000	参考図書
	什 器 備 品 費	42,000	487,972	42,000	OA機器メンテ料
	光 熱 費	130,000	185,412	240,000	電気、水道料
	賃 借 料	924,000	1,187,919	1,440,000	事務所借料
	慶 弔 費	150,000	122,290	120,000	祝儀、香典
	交 際 費	120,000	72,294	120,000	接待費、会議等参加費
	雑 費	60,000	44,984	60,000	振込手数料、登記料
	積 立 金 支 出	200,000	200,000	200,000	
	退職給与積立金	200,000	200,000	200,000	
	予 備 費	532,000	518,000	80,000	
	予 備 費	532,000	518,000	80,000	
	雑 損 失	0	300,000	0	
	雑 損 失	0	300,000	0	
	当 期 支 出 合 計(C)	28,356,000	28,606,405	20,315,000	
	当 期 収 支 差 額(A-C)	0	36,226	0	
	次期繰越収支差額(B-C)	17,760,687	17,796,913	17,796,913	

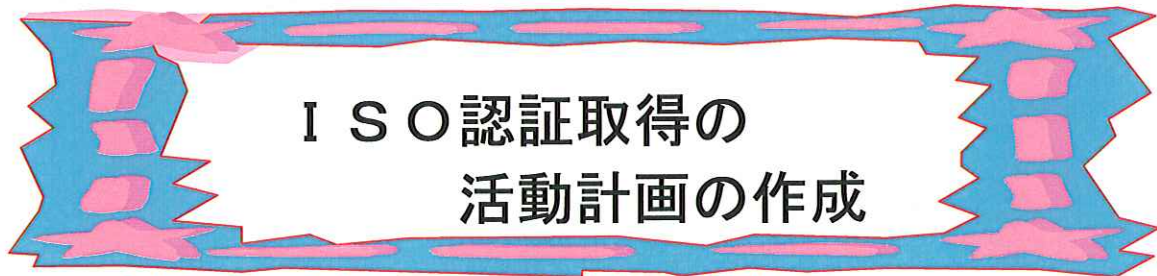


ISO推進委員会

まえがき

2004年の創刊号で、安く、早くISOの認証が取得できる「JMSAグループQMS」「JMSAネットEMS」システムを紹介させて頂きました。

今回は、認証取得準備作業開始のキックオフから審査機関による登録審査までの全体活動計画を作成する上で考慮すべきことをまとめてみました。



ISO認証取得の 活動計画の作成

1. 全体活動スケジュールを立てる事前準備

- ① 審査機関が決まり、取得活動のスケジュール作成の第一段階は、認証取得時期を決めることです。
顧客から「〇〇〇〇年〇〇月までにISOを取得して下さい。」というような外部から要求される場合、経営者の宣言でISO取得時期を決定する場合、あるいは、主要な準備活動の工数を積上げ、取得時期を決める場合等があります。
- ② 全体推進スケジュール事前準備で考慮すべき事項
システム構築で、文書・帳票類の作成は、多くの工数が注ぎ込まれ、多くの場合、計画遅れが発生しております。
しかし、登録審査までに避けて通れない、内部監査、監査に伴う是正処置、マネジメントレビューがあります。内部監査から審査まで2ヶ月間以上の期間を確保したスケジュールが必要と思います。「品質マネジメントシステム導入スケジュール例」、「環境マネジメントシステム導入スケジュール例」を参照下さい。

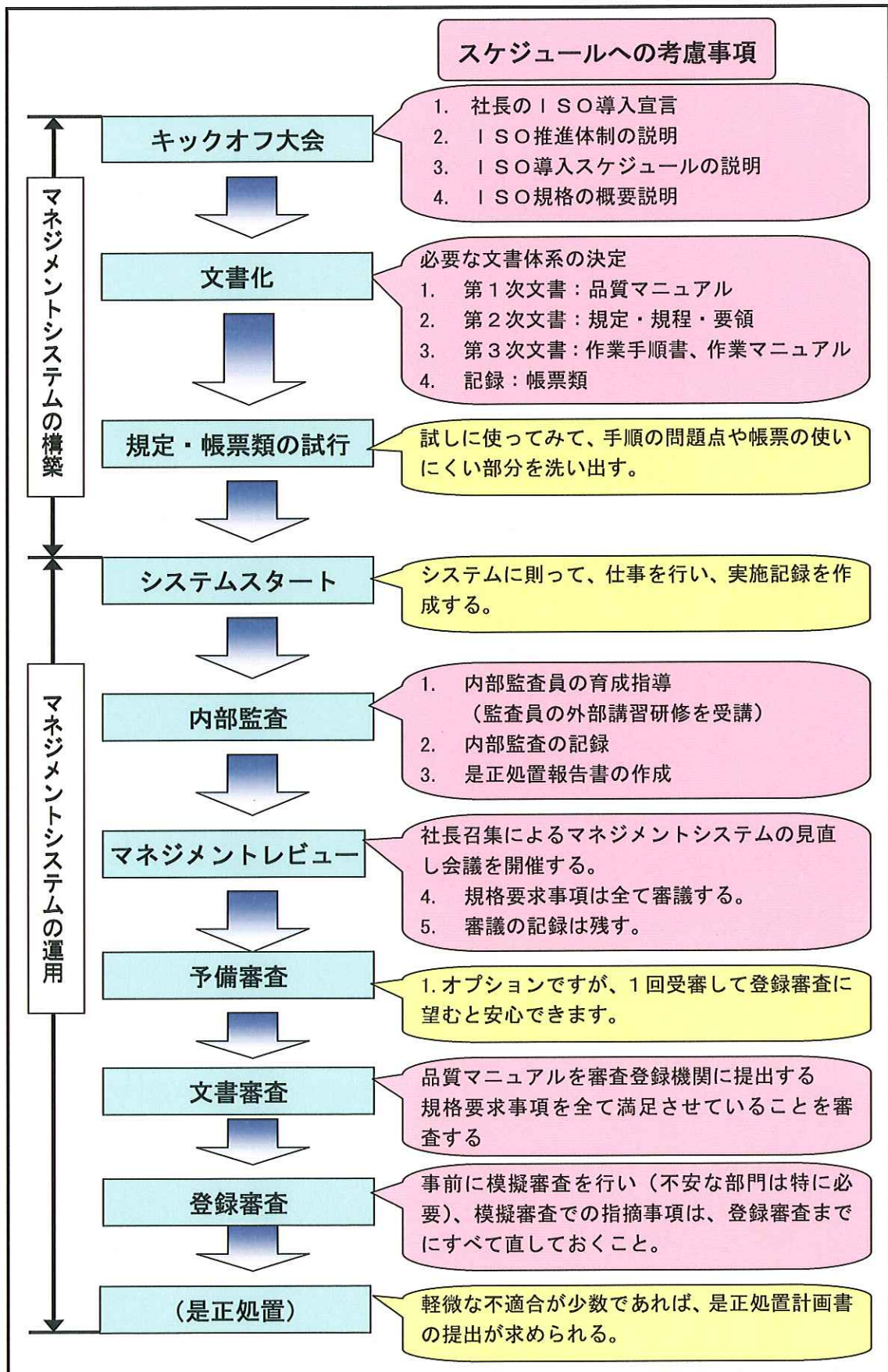
2. 登録審査までの主な活動

ISOの導入スケジュールは、大きく前半と後半に分けられる。

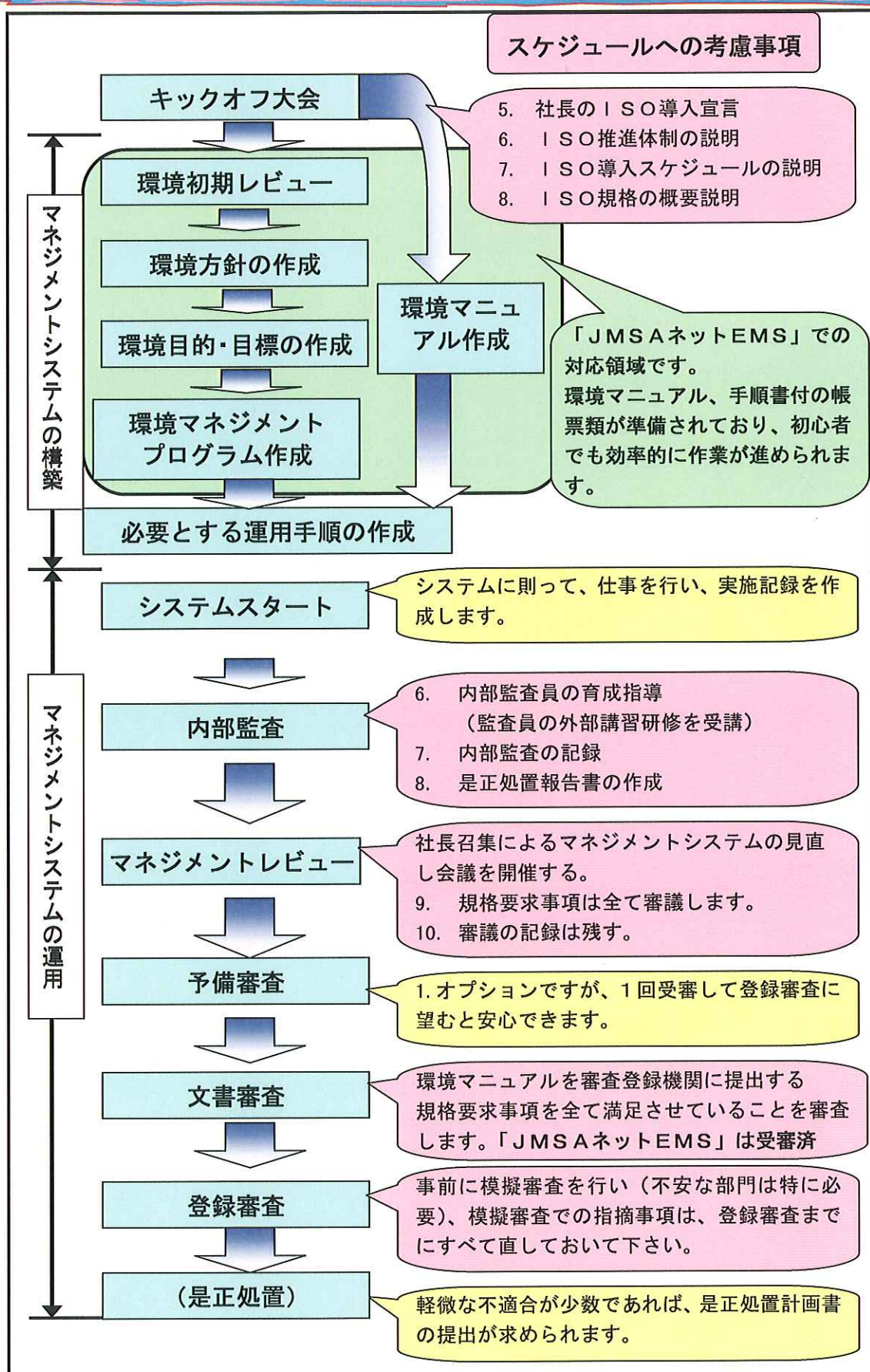
- ① 前半は「マネジメントシステムの構築（文書化）」であり、自社の現状に合わせてシステムを構築する。
主な活動 キックオフ大会
文書類の作成（品質マニュアル・規定・要領・手順書の作成、帳票作成）
新規定・帳票類の試行
- ② 後半は「マネジメントシステムの運用（定着化）」であり、システムを動かしながら、全社員が活動できるレベルまで持ってゆくことです。
主な活動 内部監査
マネジメントレビュー
予備審査（オプション）
文書審査
登録審査



品質マネジメントシステム導入スケジュール例



環境マネジメントシステム導入スケジュール例



ISO認証取得企業の推移

ISO推進委員会では、当会員の多くの企業様がISO9001、ISO14001の導入で、企業体質の強化、競争力の向上を図って頂く活動を続けております。

当会員企業様には、「ISO旬報」を通して、次のような各種情報を提供して参りました。

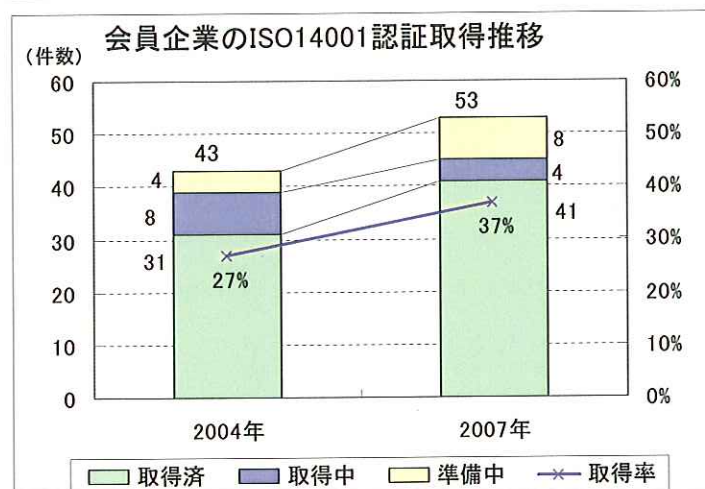
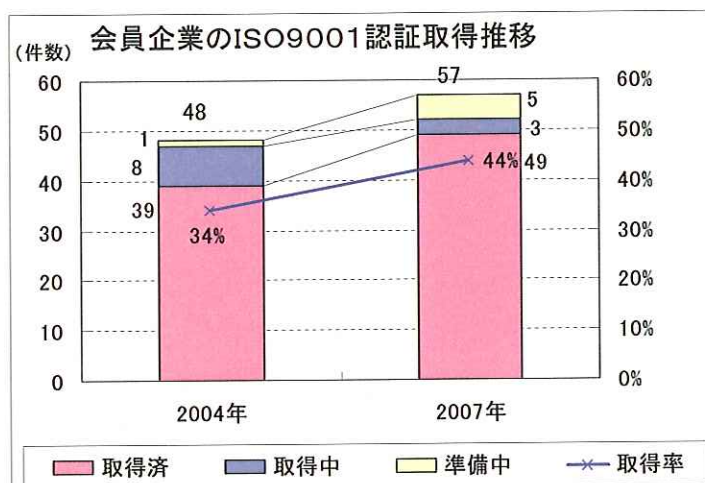
- ① 安く・早く取得できるJMSAネットEMS、JMSAグループQMSの紹介
- ② 環境関連法規の最新情報
- ③ ISO14001（2004年版）の改訂情報
- ④ ISO9001/14001次期改定情報提供してまいりました。

当委員会も3年が経過し、改めて会員企業のISO9001/14001認証取得状況を調査しました結果、

- ① ISO9001/14001認証取得企業様は、共に10件増えました。
- ② 当会員企業全体で、ISO9001/14001を取得している割合（取得率）も10%増え、ISO9001は44%、ISO14001は37%になりました。
- ③ 同委員会が推奨しています、JMSAグループQMSでの取得は4件、JMSAネットEMSでの取得は8件と環境での取得に採用されている企業が多くなっています。

今後、多くの企業で品質・環境のISOを多く取得して頂く為、アンケート調査等により問題点を洗い出し、会として何が出来るかを検討し新たな取組を進めて行きます。

企業体質向上を目指し新たな取組を進めてまいります。各企業様のご協力をお願いします。



※ 2004年、2007年は、認証取得状況を調査した年です

品質改善セミナーⅡのご案内

コミュニケーション力を強化して品質不良を減らす

ISO 推進委員会では、昨年の品質改善セミナー「全員で取り組む生産現場のボカミス・ゼロ化活動」に引き続き、下記のとおり「品質改善セミナーⅡ」を企画いたしました。前回は定員を遙かに超えるご参加をいただき、「継続的な開催を」というご意見をいただきました。今回は、もっとも身近な問題を取り上げて見ました。多数のご参加をお待ちしております。

こんなことが原因で品質トラブルが発生していませんか？

- ☐ 簡単な訓練だけで派遣労働者をラインに入れてしまう
- ☐ やりにくい作業があっても我慢して上司に言わない
- ☐ 不良品をつくと怒られるので、できる限り手直しする
- ☐ 上司の指示内容がよくわからないが、一応「はい」と返事をする
- ☐ 夜勤と日勤の引継ぎがうまくいかず、同じ問題が再発する
- ☐ 工程内検査と出荷検査、取引先の受入検査基準が違っていった
- ☐ 直接の上司を飛び越えて、他部門の上司や先輩から、さまざまな指示が入る

こんな図面じゃ“やりにくい”って現場から文句がくるぞ。

はい、わかりました。

まったく、何を言いたいのかわからないよ。具体的に指示してくれなきゃ・・・。
(心の声)

これらはみんなコミュニケーションの悪さが品質不良の原因になっている事例です。

コミュニケーションとは、人と人との間で繰り返される言葉のキャッチボールなので、情報を伝える側は情報を受ける側、つまりボールを投げる相手のことをよく考えてコミュニケーションをとる必要があります。とくに品質情報の伝え手である品質管理スタッフや管理監督者の皆さん、あなたのコミュニケーション力に弱点はないでしょうか？

本セミナーは、品質不良ゼロのための上手なコミュニケーションの取り方について演習を通じてセルフチェックしていただけるカリキュラムになっております。職場のコミュニケーショントラブルでお悩みの皆さんのご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時 7月3日(火) 13:00～16:30
2. 会 場 たかつガーデン 3階「ローズ」 大阪市天王寺区東高津町7-11 (TEL 06-6768-3911)
3. 講 師 (社)中部産業連盟
4. 参加費 5,000円/人(テキスト代込み) 当日、頂戴いたします。
5. 定 員 30名
6. 申込方法 添付の参加申込用紙にて、FAXでお申込み下さい。(FAX:06-6762-7633)
7. 締 切 日 6月20日(水)

カリキュラム

時 間	主 な 内 容
13:00～14:00	(1) コミュニケーション力の低下と品質トラブル (2) コミュニケーション不足が原因の品質トラブル事例
14:00～15:30	(3) コミュニケーションの良い職場の姿 (4) コミュニケーション力の強化策 ① 教えるスキルの強化策 ② コミュニケーションスキルの強化策 ③ コミュニケーションを活発にする職場の仕掛け
15:30～16:30	(5) コミュニケーションスキルの実践訓練 「必要な情報を100%相手に伝える」対話シート作成(演習)

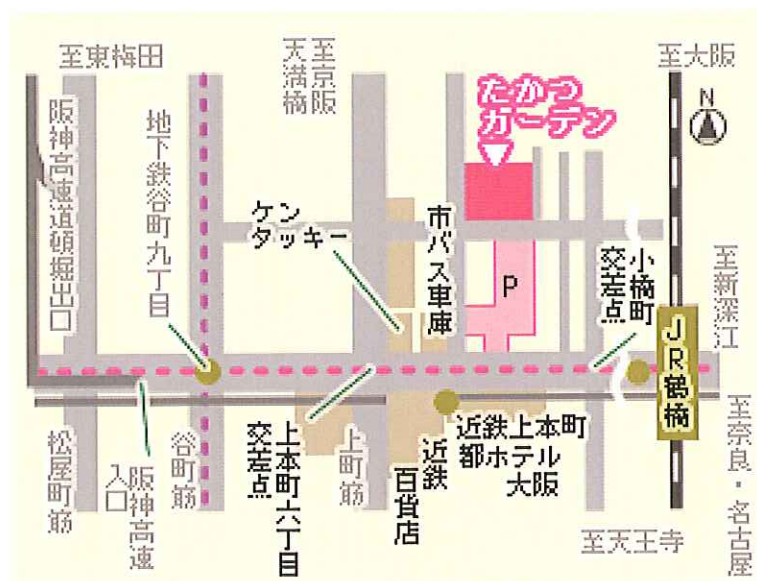
(社) 大阪金属プレス工業会 宛

FAX 06-6762-7633

MAIL omsa1@omsa.or.jp

品質改善セミナーⅡ 参加申込書

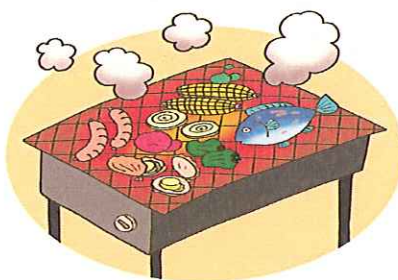
御 社 名					
ご担当者名		TEL		FAX	
ご 参 加 者 氏 名			お 役 職 名		



会 員 各 位

好評により今年も実施します！

遊んで!!食べて!! 地引き網体験ツアー



平成19年5月11日
(社)大阪金属プレス工業会
経営委員会(労務)
委員長 河合 寛人

前略 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、経営委員会(労務担当)では去年に引き続き、りんくう南浜岡田浦漁港において地引き網体験と海鮮バーベキュー大会を実施致します。従業員様並びにご家族の方々など多数のご参加をお待ち致しております。

開催日 7月8日(日) 10時(雨天決行)
※雨に濡れない場所選定

場 所 岡田浦漁港(泉南市)
交通アクセス 南海なんば急行～泉佐野(乗換)普通～岡田浦駅
(約49分) 岡田浦駅～漁港～徒歩 10～15 分
料金 620円(片道)

スケジュール

10時(集合)受付
地引き網 10時30分開始……… 11時45分終了
昼 食 12時………14時まで
海鮮バーベキューとビュッフェ(飲み物は各自負担)
抽 選 会 13時00分より30分程度
景 品 引き上げた魚の中から10家族に差し上げます。
14時頃 解散

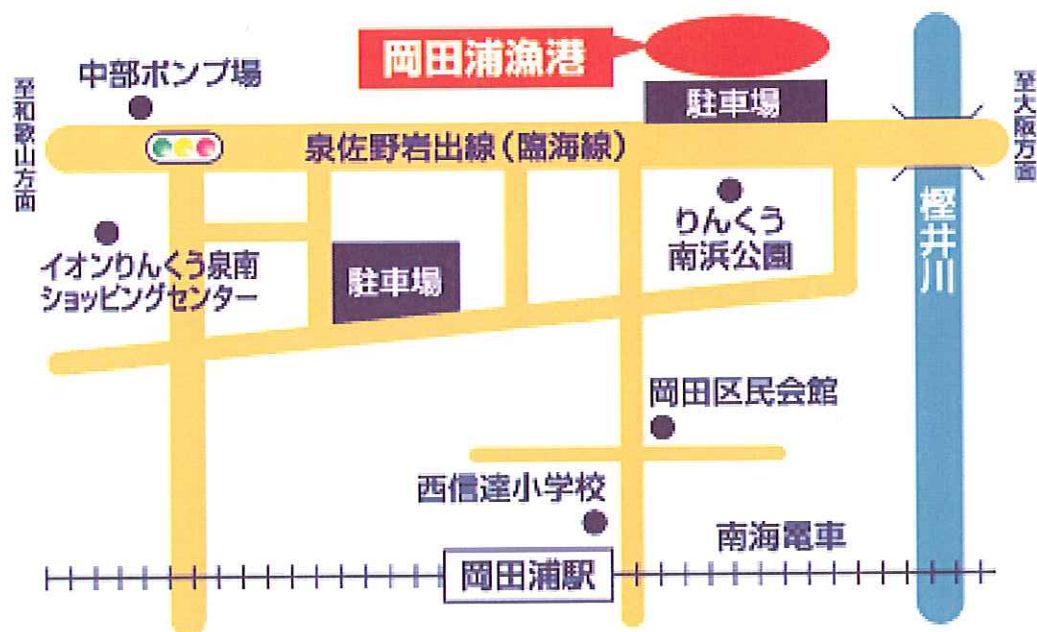
参加費(おひとり) (工業会半額負担)

大 人 3,000円
(中学生含)
小学生 2,000円
幼児(5歳以下) 無料

※地引き網使用料、食事代含む

申込締切り
6月22日(金)

持参して便利な物
軍手・タオル・帽子・サングラス・
水着・ソックス・サンダル他



7/8(日) 地引き網参加申込書

(社)大阪金属プレス工業会宛
FAX 06-6762-7633

御企業名 _____

御担当者名 _____

NO	参加者氏名	大人(男) 中学生含	大人(女) 中学生含	小人	幼児5 歳以下	オプション(持ち帰り) 岡田浦のさかな		
	参加費	3,000円	3,000円	2,000円	無料	1,000	1,500	2,000
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

(8人をこえる場合はコピー願います。)

*オプション申込の方へ

中身は当日の釣果によってかわります。

*付近のご案内

泉佐野漁港近くに有名な青空市場があります。2時30分からセリ有り。

交通アクセス: 南海泉佐野駅から徒歩約20分



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:omsa1@omsa.or.jp)